

北中校区

『小中一貫教育』の取組

キャリア教育

北中校区の小中学校では、小中一貫「キャリア教育カリキュラム」を策定し、9年間を通した「キャリア教育」に取り組んでいます。2年生では実際に働く人をゲストティーチャーとして迎え、「働く人から学ぶ会」を開催しました。この出会いを通して自己実現を図ろうとする態度や「ないた



い自分」において、努力する態度を育てたいと考えています。

【北中校区「キャリア教育」カリキュラム】（一部抜粋）

小学校	高学年	道徳科	(5年)「マンガ家 手塚治虫」(自) 「サタデーグループ」(人) (6年)「それじゃ ぐんじゅん」(自) 「母の仕事」(課)	(5年)「父の仕事」(課) (6年)「上村さんのちよせん」(課)	(5年)「かせのでんね」(キ) (6年)「IPS細胞の向こう」(キ)
	総合的な学習の時間	(5年)すみよし春らしを考える(人) (6年)自分の生き方を見つけよう 私たちができること(SDGsから) (5~6年)人権を大切にすると人の出会いから差別をなくすために(人) (キ) 部落問題を考える小学生の集い(自) (キ) (人)			
中学校	1年生	学校行事	体育祭、社会見学、修学旅行、文化発表会、合唱コンクール、三年生を送る会、卒業式		
	特別活動	・テストの受け方 ・中学校生活と私たちの進路について	・社会見学を通し、陶芸等の仕事にふれる		
	道徳科	・中学生になって ・義務と権利を考えて ・ふるさとのために	・自分のよいところや興味関心を知る。 ・働くってどんなこと ・クラスの生活をよくするために	・3年先の自分に向けて ・よりよいクラス活動を目指して ・人の気持ちが分かる人間を目指して	
	総合的な学習の時間	・性の多様性について ・なかま集会	・随分者との出会いや体験、交流を通して、共生社会の実現に向けて考えるときに、福祉の仕事にふれる。 ・性教育講演会 ・なかま集会	・身近な人から職業について知る(キ) (私たちの進路計画) ・部落差別の問題を身近に感じ、自分の中の差別につき、この問題の解決を目指す気持ちとやいじめをなくして行く行動力を身につける。 ・なかま集会	
2年生	特別活動	・集団における自分の役割や責任について考える	・職業について知識理解を深める。 ・職業調べ新聞の作成	・職業調べ新聞の発表 ・進路選択に向けて	
道徳科	・自分らしい生き方について考える	・働くことのすばらしさを知る ・ボランティア精神について学ぶ	・働くことの楽しさややりがいを学ぶ		
総合的な学習の時間	・自分の進路希望と職業について考える。 ・なかま集会	・自分の進路と職業について考える。 ・なかま集会	・働く人から学ぶ会 ・自分を生かしていくための進路計画 ・なかま集会		

「働く人から学ぶ会」

【総合的な学習の時間】

ゲストティーチャーのみなさま、
ありがとうございました

